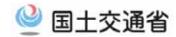
第2回流総計画再構築検討会

流総指針改定に関する論点と対応方針

平成26年1月 国土交通省 水管理·国土保全局 下水道部





論点	対応方針
論点1 目標の多様化	季別目標等、環境基準と併せた目標設定を可能とする。
論点2 柔軟性を持たせた計画の導入	予測負荷量等の幅はもたせない。(必須) 計画期間は「概ね」の年間とする。(必須)
論点3 作業の簡略化	既往流総成果や統計資料の活用による簡略化を可能とする。
論点4 エネルギー消費量の考慮	省エネ化の推進等のため、エネルギー消費量に ついて考慮することとする。(必須)
論点5 エネルギーポテンシャルの算定	エネルギー有効利用推進のため、下水がもつエネルギーポテンシャルの算定を行うこととする。 (必須)
論点6 中期整備計画	下水道整備の優先順位検討により、5~10年後 に当面優先すべき事項を設定することとする。 (必須)